

普及活動情勢報告（令和8年6月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

ソリダスターの鮮度保持剤の効果検証

～ソリダスター日持ち試験～



5月20日、北原出荷場でソリダスターの日持ち試験を行いました。これまで使用していた鮮度保持剤が販売休止になったことから、代替剤を検討することを目的としました。

試験は、水、既存剤、供試3剤に15時間浸漬、3日間予冷库内で保存した後、花の品質の変化を目視により調査しました。

日持ち試験は出荷場内で行い生産者にも確認してもらいましたが、既存剤と供試3剤とで顕著な差は見られませんでした。

農業改良普及課は、引き続き適切な鮮度保持剤の使用、普及に向けて支援していきます。

農福連携による農作業体験会を開催しました

～イチゴ収穫等作業体験会の開催～



5月28日、J A、土佐市、土佐市社会福祉協議会及び農業改良普及課が連携してイチゴの農作業体験会を開催し、1人が収穫と葉かき作業を体験しました。

農業改良普及課は、参加者の作業のサポート等を行い、参加者からは「収穫作業はやや難しかったが、作業は楽しかった」という声が聞かれました。

参加者と一緒に作業を体験した関係機関職員からは「葉かき作業は、比較的簡単にできるので、広く色々な方に従事してもらえるのではないか」との意見がありました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して農福連携の取り組みを推進していきます。

みんなで協力して地域の農地を守ろう

～吾北地区ネットワーク協議会設立総会～



6月8日、いの町吾北地域管内6つの集落協定の代表者6名、関係機関7名が出席し、吾北地区ネットワーク協議会設立総会が行われました。

総会では、集落協定が連携した草刈り隊の結成や、機械の共同利用等、事業計画について活発な意見交換が行われました。

農業改良普及課からは、今年度に試験を実施しているドローンによる直播き栽培について、撮影動画による情報提供を行い、代表者も関心が高い様子でした。

農業改良普及課は、関係機関と連携して、農地の維持・発展に向けた取組を支援していきます。